

令和3年度 笠間地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

《地域の現状》

●笠間地区(笠間連合町内会):大船駅に近く利便性のよい地区です。戸建てと集合住宅、大規模マンションが混在しています。単身者が住むアパートも多数あります。子育て世代も多いことから地域全体の高齢化率は高くありませんが、一部地域では高齢化率が上昇しています。自治会町内会単位で様々な支えあい・見守り活動が行われていますが、取り組み状況には差があります。

●田谷地区(豊田連合町内会):田畑や野山が広がるのどかなエリアです。高齢化率は高いものの、3世代で暮らす世帯が多く、町内会を中心に住民による見守り・支え合いが行われています。買い物や通院などの外出には車やバスが必要です。

●長尾台地区(豊田連合町内会):古くから住む住民同士は繋がりがあり、町内会館や公園で様々な活動が行われています。ここ数年新しい戸建てや集合住宅が増えています。

《今後の方向性》

・地域福祉保健計画。地区別計画の推進を区役所・区社会福祉協議会と共に支援すると共に、区計画の推進に取り組みます。

・住民による支え合い活動や見守り活動が更に活発になるよう、活動のきっかけ作りや、担い手の増加に取り組みます。

・地域ケア会議を効果的に実施し、地域包括ケアシステムに不可欠なネットワーク構築を図ります。

・介護予防に資する取り組みを継続し、元気な高齢者を増やします。

今年度の重点的な取組

新規	継続
----	----

—具体的な取組内容—

<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	第4期地域福祉保健計画の地区別計画策定および推進について、区役所・区社会福祉協議会と日ごろから情報を共有し、協議の上、足並みを揃えて後方支援に取り組みます。
--------------------------	-------------------------------------	--

<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域に足を運び、コロナ禍での地域活動の状況把握や活動支援を行います。
-------------------------------------	--------------------------	------------------------------------

<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域で検討が始まった新たな生活支援の取組(移動販売)について、その協議や取り組みを支援します。
-------------------------------------	--------------------------	---

<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域に出向き、「健康長寿さかえ応援ノート」「SAKAEシニアライフノート」の周知活動を行います。
-------------------------------------	--------------------------	--

<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	個別ケース地域ケア会議を開催し、地域包括ケアシステムに資するネットワークを構築します。
--------------------------	-------------------------------------	---

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

・第4期地域福祉保健計画については、笠間地区の推進体制が変わったこともあり、区役所・区社会福祉協議会と改めて後方支援の方法について検討。地域の会議に出向き進捗を確認させて頂くこととなった。研修会開催に向けた支援も行うことが出来た。

・地域サロンや移動販売など、様々な場に出向き活動状況の把握や活動支援を行った。特に移動販売は立ち上げの協議から活動開始後の支援まで密に関わった。買い物支援にとどまらず、新たな「交流の場」として地域で大きな役割を果たしている。

・コロナ禍でも安心して参加頂けるよう、Zoomなどオンラインを併用して講座を開催。当初は開催側も参加側も手探りだったが、問題なく実施することが出来た。今後も出来るだけ併用の形を取っていきたい。

・地域ケア会議は個別ケース1回、包括レベル1回を開催。包括レベルでは「見守り」をテーマに「見守りチェックシート」の活用方法について検討。区レベル地域ケア会議の内容も踏まえながら、地域の見守り体制の構築に繋げていきたい。

区からのコメント

・地域福祉保健計画(地区別計画)の事務局として、会議への出席や連絡調整に取り組んでいただいています。当地区は、4期計画から、連合町内会を推進の主体として位置づけており、今後、区内他地区のモデルとなっていく可能性もあります。地域の意向を主体としつつも、引き続き、必要に応じて助言等の支援をお願いします。

・コロナ禍のなかで、地域の活動を続けていくにはどうしたらいいか、研修や講座を行う意味は何か皆で検討し、明確にして取り組んでいます。また、地域や関係機関とも連携し、新たにICTを活用した講座を開催するなどの工夫も加えながら、見守り活動や関係機関との研修会等を行っています。引き続き、地域の身近な相談機関として地域や関係機関と連携しながら、研修や講座を実施し、取組を推進していただくことを期待しています。

令和3年度笠間地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	「横浜市」と名のつく施設である事を重く受け止め、地域住民、福祉保健団体、介護保険事業所などに対して公正中立な立場で業務にあたります。 特に地域包括支援センターで「事業所の選択」に係る相談を受けた場合は、事業所の一覧を提示するなど、複数の選択肢がある事を相談者に示す取り組みを実践します。	横浜市個人情報の保護に関する条例や、法人の個人情報(プライバシー)保護に対するマニュアル等に従い適切に個人情報を取り扱います。また、職員研修による意識向上に加え、当事業所職員以外の実習生やボランティアの方とも個人情報取り扱いの誓約書を交わし適切な情報管理に努めます。情報漏洩防止策としては、マスクング、ダブルチェック、ネット環境の整備など物理的な対策を講じ予防に努めます。
実績	公正中立に業務を行いました。地域包括支援センターで居宅介護支援事業所等「事業所の選択」に係る相談時は「ハートページ」等の事業所一覧を提示し、複数の選択肢から本人家族が自由に選べることを説明しました。	個人情報の適切な取扱いに努めましたが、事業所間での書類受け渡しミスや、業務中のメモ紛失など個人情報漏洩に繋がる事案が発生。適切に区役所に報告すると共に、再発防止策の取り決め、施設内での共有を行いました。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	介護予防と自立支援の視点を踏まえ、自分らしく自立した生活を続けられるよう、介護保険制度やインフォーマルサービス等を活用し支援します。	地域に住む高齢者が、住み慣れた地域で自分らしく自立した生活を続けられるよう、介護保険制度やインフォーマルサービス等を活用し支援します。
利用料金・実費負担	利用料金はなし。ただし、担当地域を超える地域に訪問・出張する場合はその交通費(実費)を徴収。	利用料金はなし。担当地域を超える地域に訪問・出張する場合はその交通費(実費)を徴収。
職員体制	社会福祉士・主任ケアマネジャー・看護師 〔常勤兼務 各1名〕 予防プランナー〔非常勤専従1名〕	管理者〔常勤兼務1名〕 介護支援専門員〔常勤専従3名、常勤兼務1名〕
契約者数	179人	126人

3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	(ア)ご利用者が自立した日常生活を営めるように支援します。 (イ)ご家族の介護負担の軽減につながるように支援します。		
実施体制	【実施日数】 351日 【提供時間】 10:00~15:00 【定員】 48名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】

<p>利用 料金 ・ 費 負担</p>	<p>要支援1 =1,793円 サービス提供体制加算Ⅱ =78円 (1月分) 要支援2 =3,675円(週2回程度ご 利用) サービス提供体制加算Ⅱ =155 円 (1月分) 要支援2 =1,755円(週1回程度ご 利用) サービス提供体制加算Ⅱ =78円 (1月分) 要介護1 = 608円(1割負担) 要介護2 = 718円(1割負担) 要介護3 = 829円(1割負担) 要介護4 = 939円(1割負担) 要介護5 =1,050円(1割負担) 入浴Ⅰ = 43円(1割負担) 入浴Ⅱ = 59円(1割負担) サービス提供体制加算Ⅱ =20円 (1回ご利用分) 食事代 = 730円</p>		
<p>職員 体制</p>	<p>管 理 者 :1名(常勤兼務) 生活相談員 :2名(常勤兼務) 介 護 職 員 :2名(常勤兼務) 介護職員 :9名(非常勤) 機能訓練指導員 :3名(非常勤兼 務) 看 護 師 :3名(非常勤兼 務) 介 助 員 :4名(非常勤)</p>		
<p>契約 者数 等</p>	<p>【延べ利用者数】 12,745人 【契約者数】 120人</p>	<p>【延べ利用者数】 【契約者数】</p>	<p>【延べ利用者数】 【契約者数】</p>

令和3年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	びよびよランチ	H23年	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	子育て支援。乳幼児とその保護者の仲間作り、ストレス軽減、ちょっとした相談場所を提供する。	3:養育者及び乳幼児		区役所事業(地域育児教室、子育て支援)の後時間をフリースペースとし、昼食が摂れる場とする。主任児童委員、民生委員の見守り、母親同士が買い物やトイレにゆっくり行けたり、ちょっとした相談ができる。 毎月第1金、第3水曜日(年24回) 【実績】コロナのためクリスマスのみ開催	1	58
2	出張！駅ひろば	H23年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子育て支援。広い場所でのびのび遊ぶことを目的とする。	3:養育者及び乳幼児		「親子の駅ひろば」より職員が出張し、乳幼児親子を対象としたイベントを行う。 6月、9月、12月、2月(年4回) 【実績】7月、12月	2	51
3	ゆうわ館で水遊びしよう！	H24年	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	①夏季の遊び場提供 ②養育者のストレス軽減 ③地域活動者と住民の関係づくりの場 ④中学生の地域活動の場の提供	3:養育者及び乳幼児		ゆうわ館の駐車スペースにビニールプールを用意し、プール遊びを実施。室内遊びも出来るよう館内にはおもちゃを用意。水の入れ替え時間をおやつタイムとし、更生保護女性会のPRを行う。地域の中学生がボランティアとしてお手伝い。 7月、8月(年3回) 【実績】コロナのため中止	0	0
4	親子de遊ぼう！わくわくタイム	H14年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①近い年齢の子ども、養育者への遊びの機会提供 ②公立保育園との距離が遠い地域の為、公立保育園とのつながりを作る。	3:養育者及び乳幼児		公立保育園2園の協力で開催。集団遊び、親子遊びを提供。 10月(年1回)	1	17
5	にこりんく共催事業	H25年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	にこりんくのアウトリーチ事業。にこりんくとケアプラザの機能周知の場。	3:養育者及び乳幼児		地域の養育者の興味関心のあることを題材にイベントを開催 9月(年1回) 【実績】コロナのため中止	1	4
6	さかえおもちゃ病院	H17年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	大切なおもちゃを直すことなどを通じて、子どもの健全育成の手助けをする。	4:子ども・青少年		ボランティアによるおもちゃの修理。壊れたおもちゃを持参いただき、直してもらい、長持ちするよう使い方などを改めて教えてもらう。 毎月第2日曜日(年12回)	10	60
7	コードアートキャラバン	H30年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	区民文化センターリスのアウトリーチ事業への協力。	4:子ども・青少年		アートを始める第一歩として、アーティストを招き親子で芸術に触れる。 12月(年1回) 【実績】コロナのため中止	0	0
8	障がい児余暇支援	H25年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①特別支援学校、個別支援級に通う小中学生の余暇の場の提供 ②保護者や関係機関、地域に対して、相談機能を有するケアプラザを周知する ③中学卒業後の障がい児の地域とのつながりの場の提供	2:障害児・者		基幹相談支援センターの協力を得て、地域で暮らす障害児が楽しめる、春夏秋冬の季節に合わせたイベントを開催する。 8月、10月、12月、3月(年4回)	4	54
9	ポッチャ交流イベント	R2年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域の障がいを持つ方から高齢者まで一緒に楽しめるようなイベントをおこない、ふれあえるきっかけ作りをする。	2:障害児・者		障がいのある方と地域の方との交流として、ポッチャと一緒に過ごそう調整中(年1回) 【実績】コロナのため中止	0	0
10	出張相談会	H30年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザおよび地域包括支援センター機能の周知。 ケアプラザから遠いエリアの地域住民へ、包括へ相談する機会を提供。	5:地域		地域サロンに出向き、相談機能の周知や、個別相談を行う。 時期未定 【実績】コロナのため未実施	0	0
11	湯った〜りサロン(未定)	R1年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	町内会・老人会・ケアプラザ・介護老人保健施設として民間企業との共催事業。「福祉・医療等に関する情報発信と具体的な活動の場」とする。	5:地域		田谷町にある「湯快爽快たや」にて開催 ※コロナウィルスの影響により未定 【実績】コロナのため未実施	0	0
12	買い物支援プロジェクト	R1年	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	買い物弱者(特に高齢者)を対象とし、買い物に関する課題解決についての検討	5:地域		多様な買い物の方法について検討し、情報収集や発信を行う。 【実績】なし(プロジェクト終了)	0	0
13	買い物支援(移動販売車誘致)	R1年	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	見守りや地域のつながりも視野に入れた、移動販売車を誘致	5:地域		移動販売車による買い物支援 【実績】担当エリア内4ヶ所	86	2,124

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
14	移動支援(乗合タクシー)	R1年	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	サロン・通院・地域活動拠点までの移動等に不便を感じている方を対象にした乗合タクシーの活用	5:地域		区内タクシー2社による乗合タクシーの有効活用。 【実績】担当エリア内導入なし	0	0
15	ボランティア親睦会	H30年	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	ボランティア活動支援	5:地域		ケアプラザに登録し活動している個人・団体に感謝を伝え、今後の活動継続に繋げる。自己紹介。意見交換・情報交換。秋～冬(年1回) 【実績】コロナのため中止	0	0
16	栄区地域ケアプラザ6館合同自主企画よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	H24年	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①身近な会場で研修会を受けていただく機会の提供 ②ボランティア拡充	1:高齢者		よこはまシニアボランティアポイントの概要やボランティアについての講習。受講者にはボランティアポイントカードが発行される。11月(年1回) 【実績】コロナのため書面開催	1	9
17	ちょこっとボランティア連絡会	H28年	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	住民同士の支え合い・助け合い活動を行っている団体同士が顔を合わせ、現状や課題を共有し、今後の活動に向けて連携をはかる	5:地域		栄区内で活動する団体にお集まり頂く。テーマを決めての勉強会、意見交換等。8月、2月(年2回) 【実績】コロナのため開催なし	0	0
18	貸し館団体連絡会	H30年	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	施設利用ルールの説明を行い、福祉保健活動を積極的に行っていただけるよう情報提供を行う	5:地域		・施設利用ルール説明 ・福祉保健活動記録の提出について ・災害時の対応について(避難経路の確認) ・団体からの要望聴取、意見交換等 【実績】コロナのため書面開催	0	0
19	かさまごはん	H30年	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	地域住民が食を通じて顔見知りになるきっかけの場を提供する。孤食・閉じこもり・引きこもり等の対策につなげる。	5:地域		・ボランティアによる夕食の提供、住民の交流。 ・第2、3四半期は活動再開に向けた役員会に出席 【実績】コロナのため、実施なし	4	373
20	地域ケア会議	H24年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者が住み慣れた地域で、出来るだけ安心して暮らし続けるために、住みよい地域を作る(地域包括ケアシステムの構築)	5:地域	6	実際に支援や見守りを行う実践者が集まり、個人の心配事、困りごとの話し合い、個人を支える地域でのネットワークづくりを行う。この「個別ケース地域ケア会議」を積み重ねることにより、地域内の共通課題を探り「包括レベル地域ケア会議」の開催に繋げる。年3回程度	2	18
21	認知症サポーター養成講座	H22年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	認知症の人と家族が安心して暮らせるまちづくり	5:地域		地域のキャラバンメイトと共に実施。受講者には認知症の人と家族を温かく見守るサポーターの証である「認知症サポーターカード」を配布。ケアプラザが企画する他、地域の団体や機関の依頼に応じて実施する。年数回 【実績】7月、10月	2	21
22	介護者のつどい	H22年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護者支援。介護の難しさや悩みを抱えている介護者に対して、介護に役立つ勉強会や情報提供を行いながら、介護者同士のお互いの悩みを話し合ったり情報交換が出来るような場を提供する。	5:地域	1	介護者同士の懇談、専門家からの情報提供 5月、10月、2月(年3回) 【実績】5月、10月、3月	3	19
23	権利擁護相談会	H26年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	身近なケアプラザで専門家に成年後見・遺言・相続などの相談が出来る場を作ることで、成年後見制度の利用促進、または自分らしい「老い支度」を支援する。	1:高齢者	5	司法書士・行政書士による個別相談会 9月～11月、各ケアプラザで1回ずつ開催。 【実績】10月:笠間CP、野七里CP 11月:桂台CP、小菅ヶ谷CP 12月:中野CP、豊田CP	6	14
24	「落語で笑って学ぶ!人生笑顔で!あなたのこれから・終活講座」	H22年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	栄区版エンディングノート「SAKAEシニアライフノート」の普及啓発。高齢者が人生の最期まで自分らしく生きることができるよう、自らの意思で自身の生き方を選択できるよう支援する。	1:高齢者	5	行政書士・社会人落語家の生島清身氏による落語と講義	1	37
25	地域に広げよう転倒予防体操	R1年	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	地域の高齢者の転倒事故を防ぐための普及啓発を行うとともに、転倒予防体操を身に付け、地域に広めていく人材の発掘、育成を行う。	1:高齢者	5	転倒予防体操(講師:加藤有里先生/ケア・ウォーキング普及会 健康運動指導士) 5月(年1回) 【実績】コロナのため中止	0	0

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
26	医療講演会	H22年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	在宅医療・介護連携推進	1:高齢者		近隣の医療機関の医師による講演会 時期未定(年1回) 【実績】「新しい薬局のかたち、認定薬局とは」～特定を機能を有する薬局の役割～	1	14
27	出張講座「健康長寿さかえ講座」	R3年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	栄区役所が作成した「健康長寿さ・かえ応援ノート」を中心とした介護予防の普及啓発	1:高齢者		健康長寿さかえの解説(ロコモ予防、口腔機能向上、栄養指導、社会参加)、笠間地区は「栄養」課題を重点に行う。栄区版エンディングノート「SAKAEシニアライフノート」の周知も合わせて行う。少人数で行えるよう、9カ所の地域を回る予定。10月以降。 【実績】コロナのため実施は2回。 笠間地区民児協、田谷長生会	2	26
28	ウォーキング講座	R3年	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	新型コロナウイルス感染防止のため、屋外での介護予防活動が推奨されている。ウォーキングを通じた地域活動のきっかけづくりと自主化の支援をする。	1:高齢者		ウォーキング及びポールウォーキングを体験しながら、その効果的な方法を学ぶ。ロコモ予防、口腔機能向上、社会参加を促す内容を盛り込む。 【実績】11月～3月(自主化フォローアップ含む)	10	165
29	幸せアップ ハッピープログラム	R3年	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	新型コロナウイルスの影響で、人と関わる機会が減り、閉じこもり、うつが増加している。心の持ち方を変えていくことで、閉じこもりを防ぎ行動変容を促す。	1:高齢者		幸せアップ実践ワークブックを活用し、ダイア財団の協力を得て、個別に取り組み、継続できるよう支援する。ダイア財団による調査に協力し、今後の取り組みに生かしていく。	5	78
30	サロン出前講座	H27年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者の健康長寿の延伸の意識を高め、 サロン参加者の体調の変化を出来るだけ早く察知し、支援の結びつく体制を作る。	1:高齢者		介護予防、転倒予防、疾病予防、認知症予防等の出前講座(実技を含む) 【実績】 10/11 ふれあい昼食会(ワクチン、26名) 10/24 リバーサイドサロン(シニアライフノート、ウォーキング、24名) 11/8 ふれあい昼食会(ウォーキングと姿勢について、32人) 11/27 第3大船パークタウン災害時避難対策班研修(12名) 2/25 田谷長生会(シニアライフノート、9名)	5	103
31	はまレク講座(10月ハイブリッド講座)	R2年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	コロナ禍で、「はまレク」の開催が難しい状況にあり、また、今年度保健活動推進員の入れ替えがある。保健活動推進員自身の健康増進や、地域での活動に求められる知識を学び、「はまレク」の再開に備える。	5:地域		計測、はまちゃん体操ポイント説明、健康長寿さかえ、栄養、転倒予防、口腔ケア等 4～9月 【実績】コロナのため、実施は10月・12月	3	49
32	リーダー研修会	R2年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	元気づくりステーションで自主的に活動しているグループの活動支援をする。	1:高齢者		菅原先生のビデオ視聴等 時期未定 【実績】4月、6月、11月、12月、3月	3	32
33	かさまケアマネサロン	H27年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ケアマネジャーのケアマネジメントスキル向上と知識(医療や制度等)を深めることを目的とする。	6:事業者		ケアマネジメントに必要な技術・知識を学ぶ。 ・高齢者の身元保証と終活を考える ・対人援助技術について等 ・事例検討会 ・教えてサービスB(包括主マ共催) ・ZOOM勉強会「さあZOOMしよう！」(栄ケアネットと包括主マ共催) 4月、11月、2月(年3回程度)	6	139
34	在宅医療相談室との共催事業	R2年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	医療機関との連携強化に伴い、栄区の医療相談室を窓口として、栄区医師会とも連携を図り、事例検討会や多職種連携の分野で、医療と介護の課題についての研修を開催。対象者への学びの場として位置付ける。	6:事業者		《多職種連携事業》5月「もしばなカード」 《ケアマネ支援》10月「対人援助技術」(ケアマネ・新任研修兼ねる) 《その他》認知症のVR体験 ACP普及講座 【実績】VR体験はコロナで中止	1	11
35	医療との連携推進「薬局薬剤師との懇談会」	H27年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の中で最も身近な医療機関である薬局。その薬剤師との交流から、地域に向けて薬剤師のできること・役割について話し合い、多職種との協働も同時に考え具体的な活動を行っていく。	6:事業者		事例検討や勉強会、ケアマネをはじめサービス支援者との懇談(年3回程度) 【実績】年2回企画したが2回目はコロナで中止。	1	12
36	施設協力医との懇談会	R2年	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	施設協力医と包括をはじめ、ケアマネやサービス事業者との関係の構築と連携強化を目的として定期的な懇談を行う。	6:事業者		・テーマを設けた情報交換・事例の検討 ・医療相談等 (毎月第4木曜日) 【実績】毎月第3 or 4火曜日 1月～3月はコロナで中止	3	20

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1: 地域活動交流事業	2: 地域包括支援センター運営事業		1: 優先的に取り組みが求められる事業			1: 高齢者	2: 障害児・者	3: 養育者及び乳幼児
3: 生活支援体制整備事業	4: 共催(1と2)	5: 共催(1と3)	2: 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			4: 子ども・青少年	5: 地域	6: 事業者
6: 共催(2と3)	7: 共催(1と2と3)					7: その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
37	高齢者虐待出前講座	H26年	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	高齢者虐待の予防・早期発見	6: 事業者		介護保険事業所等に出向き高齢者虐待についての出前講座を行う。栄区内地域包括支援センター社会福祉士2, 3名+区高齢障害支援課ケースワーカー1, 2名の構成で実施。依頼に応じて年数回	7	77
38	新任及び就労前ケアマネジャー研修	H24年	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	居宅介護支援事業所の新任ケアマネジャー又は、就労をこれからする予定の者に対して、ケアマネジャー業務のスキルアップを図る。	6: 事業者		ケアマネジメント技術、対人援助技術、制度やサービスについて、医療と介護の連携について等(新任以外の参加者も人数に記載)10月 2月(年2回程度)	1	37
39	初心者のためのシニア向けスマートフォン講座	R3年	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	スマートフォンを利用する高齢者を増やし、情報収集やネットショッピングができるよう、3回連続の講座を実施。	1: 高齢者		コロナ禍で外出自粛期間中であったが、ほとんど休むことなく参加いただいた。隣同士での会話も弾み、わかりやすい講義に満足してもらえた。 【実績】7月	3	27
40	見守りタクシー勉強会	R3年	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	タクシー利用者(特に高齢者)の見守りについてのお願いと、気づきのポイントを説明する	1: 高齢者		区内の生活支援コーディネーターが作成した『見守りのポイント』リーフレットをドライバーに配布し、地域ケアプラザとの連携を依頼した。 【実績】5月(2回)、12月(2回)	4	152
41	地域住民勉強会(多職種勉強会)「ワクチンについて学ぼう」	R3年	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	地域住民及び事業所への医療情報の提供。地域・医療・介護関係者の顔の見える関係構築。	5: 地域	6	新型コロナウイルスワクチンの接種が始まったことを機に、ワクチンとは何か、その効果(何のために接種するのか)、副反応は?等を正しく理解し接種に誤解のないようにして杞憂せず望めるように、エリア内の薬局薬剤師を講師に招いて勉強会を開催する。(ZOOMの並行開催)	1	37
42	健康長寿とお口の健康	R3年	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	コロナ禍で、人との交流が減り、口腔機能の低下を訴える高齢者が増えてきている。健康長寿に欠かせないお口の機能の維持について理解し、お口の健康維持について学ぶ。	1: 高齢者	5	健康長寿について、口腔機能と健康長寿との関係、口腔のケアについての講座。ハイブリッド方式で行う。会場・ZOOMそれぞれから、質問を受ける。	1	19
43	今日からはじめる「骨盤底筋トレーニング」	R3年	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	高齢者から、頻尿、尿漏れが心配で、水分を控えたり外出を控えているという訴えが聞かれる。骨盤底筋を鍛えることで、これらの症状の改善ばかりでなく、姿勢、便秘の改善も期待できる。さらに外出する自信、意欲を引き出すねらい。	1: 高齢者		健康運動指導士による実技指導。会場とZoomのハイブリッド方式で行う。 【実績】3月	1	16
44	成年後見制度出前講座	R3年	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	成年後見制度の利用促進	6: 事業者		居宅介護支援事業所へ出向き、区内ケアプラザ包括社福祉士が作成したスライドを用いて成年後見制度等の説明を行う。 【実績】2月～3月、区内ケアプラザにて	6	33

令和3年度「横浜市笠間地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,017,128		18,017,128	19,704,028	△ 1,686,900	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	3,000	△ 3,000	
雑入	0	0	0	55,974	△ 55,974	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0	55,974	△ 55,974	
その他	3,185,000		3,185,000	3,185,000	0	
収入合計	21,202,128	0	21,202,128	22,948,002	△ 1,745,874	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	9,120,000	0	9,120,000	7,169,692	1,950,308	
本俸	5,577,000		5,577,000	4,507,858	1,069,142	
社会保険料	764,000		764,000	625,101	138,899	
手当計	2,585,000		2,585,000	1,873,239	711,761	
健康診断費	28,000		28,000	22,207	5,793	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	81,000		81,000	75,724	5,276	
その他	85,000		85,000	65,563	19,437	
事務費	3,126,000	0	3,126,000	3,287,627	△ 161,627	
旅費	18,000		18,000	11,500	6,500	交通費（スイカチャージ）等
消耗品費	345,000		345,000	495,814	△ 150,814	コピー用紙、ペーパータオル等
会議随費	42,000		42,000	7,361	34,639	研修会飲料等
印刷製本費	35,000		35,000	50,107	△ 15,107	広報誌、名刺印刷等
通信費	629,000		629,000	580,493	48,507	電話料金、切手等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	50,000		50,000	76,200	△ 26,200	AEDバッテリー、ドライレコーダー
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	67,000		67,000	64,903	2,097	施設賠償責任保険
職員等研修費	0		0	0	0	
振込手数料	5,000		5,000	4,662	338	振込手数料
リース料	1,833,000		1,833,000	1,841,711	△ 8,711	AEDリース、車両リース、ルリエ大船駐車場・駐輪場
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	102,000		102,000	154,876	△ 52,876	ガソリン代、新聞購読料、自動車任意保険料他
事業費	500,000	0	500,000	76,725	423,275	
運営協議会経費	0		0	0	0	予算：指定額 R3年度予算は事務費に算入
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	500,000		500,000	76,725	423,275	
その他	0		0	0	0	
管理費	7,982,128	0	7,982,128	8,858,775	△ 876,647	
光熱水費	1,906,000		1,906,000	2,164,616	△ 258,616	
清掃費	282,000		282,000	282,106	△ 106	
機械警備費	222,000		222,000	221,908	92	
設備保全費	722,000		722,000	644,004	77,996	
空調衛生設備保守	243,000		243,000	243,320	△ 320	
消防設備保守	89,000		89,000	84,443	4,557	
電気設備保守	24,000		24,000	23,768	232	
害虫駆除清掃保守	54,000		54,000	53,531	469	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	312,000		312,000	238,942	73,058	
共益費	239,000		239,000	238,941	59	
その他	4,611,128		4,611,128	5,307,200	△ 696,072	ルリエ大船管理組合費・修繕積立金他
修繕費	474,000		474,000	2,689,955	△ 2,215,955	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
支出合計	21,202,128	0	21,202,128	22,082,774	△ 880,646	
差引	0	0	0	865,228	△ 865,228	

自主事業費 収入	0	0	0	3,000	△ 3,000
自主事業費 支出	500,000	0	500,000	76,725	423,275
自主事業 収支	△ 500,000	0	△ 500,000	△ 73,725	△ 426,275

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和3年度「横浜市笠間地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	24,263,072		24,263,072	24,263,072	0	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000		5,802,000	5,802,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			2,124,000	0	2,124,000	
雑入	0	0	0	137,492	△ 137,492	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	137,492	△ 137,492	
その他	2,124,000		2,124,000	0	2,124,000	
収入合計	32,343,072	0	32,343,072	30,356,564	1,986,508	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	26,940,000	0	26,940,000	28,940,470	#####	
本俸	15,557,000		15,557,000	16,219,424	△ 662,424	
社会保険料	3,212,000		3,212,000	3,619,498	△ 407,498	
手当計	7,687,000		7,687,000	8,526,177	△ 839,177	
健康診断費	56,000		56,000	50,943	5,057	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	258,000		258,000	343,241	△ 85,241	
その他	170,000		170,000	181,187	△ 11,187	
事務費	1,932,000	0	1,932,000	1,841,835	90,165	
旅費	15,000		15,000	6,856	8,144	交通費(スイカチャージ)等
消耗品費	313,000		313,000	167,715	145,285	コピー用紙、ペーパータオル等
会議滞在費	0		0	0	0	
印刷製本費	7,000		7,000	12,678	△ 5,678	名刺・封筒印刷等
通信費	379,000		379,000	365,080	13,920	電話料金、切手等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	50,000		50,000	116,800	△ 66,800	ノートパソコン、国保運送ソフト
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	68,000		68,000	64,707	3,293	施設賠償責任保険
職員等研修費	0		0	0	0	
振込手数料	7,000		7,000	4,620	2,380	振込手数料
リース料	824,000		824,000	819,822	4,178	車両リース、ルリエ大船駐車場・駐輪場
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	269,000		269,000	283,557	△ 14,557	ガソリン代、自動車任意保険料他
事業費	1,334,000	0	1,334,000	314,221	1,019,779	
協力医	630,000		630,000	84,000	546,000	予算:指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	50,000		50,000	33,296	16,704	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	500,000		500,000	42,925	457,075	予算:指定額
その他	0		0	0	0	
管理費	2,011,072	0	2,011,072	1,881,783	129,289	
光熱水費	507,000		507,000	575,404	△ 68,404	
清掃費	75,000		75,000	74,990	10	
機械警備費	59,000		59,000	58,988	12	
設備保全費	193,000	0	193,000	171,184	21,816	
空調衛生設備保守	65,000		65,000	64,680	320	
消防設備保守	24,000		24,000	22,443	1,557	
電気設備保守	7,000		7,000	6,318	682	
害虫駆除清掃保守	14,000		14,000	14,229	△ 229	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	83,000		83,000	63,514	19,486	
共益費	64,000		64,000	63,515	485	
その他	1,113,072		1,113,072	937,702	175,370	ルリエ大船管理組合費・修繕積立金他
修繕費	126,000		126,000	125,349	651	予算:指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
支出合計	32,343,072	0	32,343,072	33,103,658	△ 760,586	
差引	0	0	0	△ 2,747,094	2,747,094	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	704,000	0	704,000	230,221	473,779	
自主事業 収支	△ 704,000	0	△ 704,000	△ 230,221	△ 473,779	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和3年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市笠間地域ケアプラザ

2021年4月1日~2022年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	3,813	4,731	-918	4,947	5,556	-609	25,651	25,530	121	115,967	109,847	6,120
	その他	0	0	0	0	0	0	5,989	4,413	1,576	5,013	6,774	-1,761
	委託認定調整委託事業収入			0			0	24	98	-74	0	0	0
	その他の事業収入			0			0	0		0	0	1,983	-1,983
	委託事業収入			0			0	1,757	1,448	309	0	0	0
	補助金事業収入			0			0	0	0	0	260	0	260
	寄附金収入			0			0	0	8	-8	0	148	-148
	受取利息配当金収入			0			0	0	0	0	0	1	-1
	受入研修費収入			0			0	0	0	0	84	0	84
	雑収入			0			0	0	0	0	0	5	-5
	サービス区分間繰入金収入			0			0	4,208	2,859	1,349	4,627	4,579	48
	その他			0			0	0	0	0	42	58	-16
		収入合計(A)	3,813	4,731	-918	4,947	5,556	-609	31,640	29,943	1,697	120,980	116,621
支出	人件費			0			0	27,706	25,639	2,067	87,760	82,105	5,655
	事務費			0			0	1,035	838	197	2,771	2,472	299
	事業費			0			0	0	18	-18	18,579	17,958	621
	管理費			0			0	0	41	-41	8,786	10,853	-2,067
	その他	1,566	3,409	-1,843	2,473	4,010	-1,537	5,063	3,771	1,292	917	2,742	-1,825
	利用者負担軽減額			0			0	0	0	0	217	0	217
	介護予防プラン委託料	1,566	3,409	-1,843	2,473	4,010	-1,537	0	0	0	0	0	0
	固定資産取得支出						0	0	0	0	0	580	-580
	ファイナンス債務の返済支出			0			0	650	487	163	0	162	-162
	サービス区分間繰入金支出			0			0	0	3,284	-3,284	0	0	0
	拠点区分間繰入金支出			0			0	4,413	0	4,413	700	2,000	-1,300
その他			0			0	0	0	0	0	0	0	
	支出合計(B)	1,566	3,409	-1,843	2,473	4,010	-1,537	33,804	30,307	3,497	118,813	116,130	2,683
	収支(A)-(B)	2,247	1,322	925	2,474	1,546	928	-2,164	-364	-1,800	2,167	491	1,676